2014年度の取り組み（概要）

2014年4月に大学戦略室が発足した後、大学戦略室ではまずアクションプラン2030の推進のために必要となる、予算編成を見据えたPDCAサイクルのスケジュール策定と事業計画書の作成などの具体的な仕組みづくりに着手しました。

そして、アクションプラン2030の4つのプロジェクトの施策・事業を着実に実行するため、2014年度から2016年度までの3か年を見据えた事業計画がそれぞれの施策・事業を実施する組織（運営組織）から提出され、大学戦略室及び中長期計画推進会議において承認のもと、運営組織により順次実行に移されました。

その後、運営組織を中心とした多くの教職員の力によって事業が推進されました。

2014年度に取り組みを開始した4つのプロジェクトと、施策・事業計画の件数及び2014年度末における実施結果は以下のとおりです。

2014年度会議開催記録
（中長期計画推進会議、大学戦略室会議、学内室員会議）

中長期計画推進会議

[2014年]
- ■第1回 6月25日(水)
- ■第2回 9月12日(金)
- ■第3回 12月25日(木)

[2015年]
- ■第4回 3月25日(水)

大学戦略室会議

[2014年]
- ■第1回 4月10日(木)
- ■第2回 5月14日(水)
- ■第3回 6月17日(火)
- ■第4回 8月 5日(火)
- ■第5回 9月10日(水)
- ■第6回 10月22日(水)
- ■第7回 12月18日(木)

[2015年]
- ■第8回 3月13日(金)

学内室員会議

[2014年]
- ■第1回 4月15日(火)
- ■第2回 4月23日(水)
- ■第3回 5月12日(月)
- ■第4回 5月23日(金)
- ■第5回 5月28日(水)
- ■第6回 6月 3日(火)
- ■第7回 6月11日(火)
- ■第8回 7月 2日(水)
- ■第9回 7月 9日(水)
- ■第10回 7月24日(木)
- ■第11回 9月 2日(火)
- ■第12回 10月 7日(火)
- ■第13回 10月14日(火)
- ■第14回 11月21日(金)
- ■第15回 12月11日(木)

[2015年]
- ■第16回 1月21日(水)
- ■第17回 3月 9日(月)

1 教育の質保証プロジェクト

（1）都市大教育理念のための教育プログラムの確立

明確な教育目標の設定
- 教育改善研究会において各学部のポリシーの共有
- アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを体系的に整理

教育目標に応じたカリキュラムの再構築
- スリム化の方針の下、カリキュラム改訂を実施（127科目285単位の削減）
- 共通教育部が「教養教育のあり方」を策定
- 共通教育部が教養科目の運営に関して連携すべき事項を再整理

新しい教育制度の導入
- クォータ制に対応する学年暦を策定
- 国際的に通用するカリキュラムの構築に向けてJABEE審査項目でセルフチェックを実施

主体的な学修を促す教育方法
- SCラーニングコモンズにおける学習支援スタッフの活用
- 見本となるシラバスを選定し、2015年度用シラバス作成の際に全学的に活用

（2）教育の質を保証するためのマネジメントシステムの構築

FD活動による教育システムなどの開発
- FD・SDワークショップ、教育改善研究会、FDワークショップ、大学院工学研究科教育改善・ワークショップの開催

教育プログラムの実行性の確認
- 内部質保証推進のため全学科・専攻・部門で外部指標によるセルフチェックを実施

マネジメントシステムの第三者評価
- 内部質保証システムの向上を見据えた大学評価申請の準備に着手

（3）グローバル化に対応した人材の育成

学生のグローバル・リレーションシップ育成
- 「海外の歴史と文化」「我が国の歴史と文化」に関連し、国際化・グローバル化に対応した教養科目を選定（2015年度学修要覧の教育課程表にGマーク）

実践的英語教育の導入
- グローバル化に対応する実践的な英語教育実施のため、「都市大スタンダード（外国語）」の成果・課題を検証

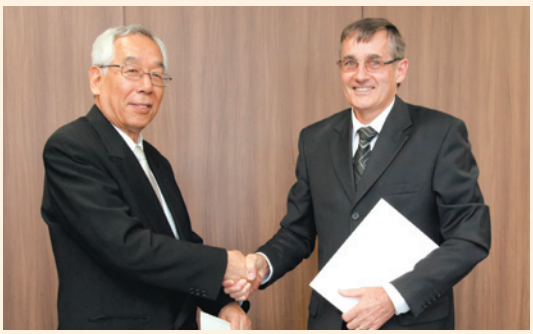
（4）研究レベルに裏付けられた大学院での人材育成

体系的なカリキュラムの構築
- 大学院研究科のアドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを整理

学部・大学院の一貫教育の導入
- 2015年度の工学部・知識工学部入学生から工学研究科との一貫教育を導入

東京都市大学オーストラリアプログラム（TAP）

- 実施に向けた万全な準備を経て、ECUと契約締結
- 2015年度からプログラムスタートへ



2 キャンパス教育環境向上プロジェクト

（1）施設の長寿命化及び更新（アメニティ空間の改善）

教育組織の規模に応じたキャンパスの整備

- 世田谷キャンパス図書館エントランスのドアを自動ドアに変更

統合化されたICTを利用した教育設備/実践的な教育を実現する教育施設設備

- PASMO付き学生証・教職員証への切替（2014年9月より）
- 教育研究のためのICTを更新し、2014年10月より新システムで運用（「利用環境の向上」「システム最適化」「災害時対策」というビジョンのもと、システム更新、シンクライアントシステムの導入、仮想化によるサーバ集約、BCP対策としてのクラウドサービスの活用、災害時の緊急連絡と安否確認システムの導入）

大学の歴史を紹介する展示施設

- 2015年1月30日、大学の歴史を紹介する「展示施設コーナー」を五島記念館 <3号館 > エントランスに開設（本学の歴史と、五島慶太翁130周年記念誌「熱誠」をもとに五島慶太翁の生涯を、パネル・模型等を用いて紹介）

（2）グローバル化に対応する施設

国際学生会館等の設置の検討

- 2014年9月より、8号館教室をリニューアルし「インターナショナルラウンジ」を開設、毎日学べる英会話の実施のほか申込者以外へも無料開放 ◇校友会による支援あり

（3）良質な学習環境

充実した学生生活支援

- 100円朝食は前期試験期に続き、後期も継続して実施

一般入試方式の重視による入学者の質向上

- 本学と主な競合大学における入試制度等の状況調査、マーケティング分析を実施

主体的に学ぶ教育環境の整備

- 2015年3月に世田谷キャンパス図書館地下1階を改修し、「ラーニングコモンズ」を設置
  - ・学生の主体的な学習活動を支援するためのグループ学習エリアの提供
  - ・多様な学習スタイルに対応するために、機器・情報資源を提供
  - ・学生同士の活動の「見える化」により、知的好奇心を刺激して相乗効果を生み出す空間作り

3 ブランド力向上プロジェクト

（1）広報力の強化によるブランド力

広報戦略部署の設置

- 事務組織の一部改正により広報戦略担当部署が設置

広報の強化

- ウェブサイト、ソーシャルメディアの現状把握と課題確認
- 東京都市大学のタグラインを開発（「**超える、つながる、その夢に。**」に決定）
- 都市大オリジナル T シャツを作成（2014年11月完成）し、販売を開始

ステークホルダーに対する広報力の強化（絆プロジェクト）

- 2014年4月27日に、長野県上田市において「東京都市大学シンポジウム in 上田ー市民と夢を語り合うー」を開催（来場者数約400名）
- 静岡県でのシンポジウム（2015年9月開催予定）の準備に着手
- 2014年11月 ホームカミングデー開催に伴うサポートとパネル等の制作物作成
- 都市大オリジナルストラップを作成、全事務職員が着用

男女共同参画活動の積極的展開

- 男女共同参画室の活動全般への協力支援体制の整備（継続）

（2）国際化の推進によるブランド力

海外インターンシップの実施

- 海外インターンシップ制度の維持・促進（継続）

（3）産学協同体制の構築によるブランド力

卒業生との交流活発化

- 現状と課題の把握（継続）

産学協同研究成果の対外的な情報発信

- 産官学連携センター（CSAC）のウェブサイトのリニューアルに着手

地域社会との連携

- 世田谷区との連携協定を締結、情報交換実施（継続）、その他の連携や交流のリサーチ（継続）

特別教授制度による先端研究導入

- 特別教授制度の導入

（4）創立記念事業によるブランド力

二子玉川夢キャンパスの開設

- 2015年6月1日オープン

渋谷サテライトクラスの拡幅

- 2015年3月1日

（5）東京オリンピック開催に合わせた”都市大”ブランド力の向上戦略

東京オリンピックの開催に合わせた東京都市大学としての貢献

- 2014年6月に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、同大会組織委員会と連携協定を締結

4 大学運営向上プロジェクト

（1）中長期計画に基づくPDCAサイクルの確立と評価

計画推進管理組織実行結果の点検・評価組織

- PDCAサイクルを確立
  - P：実行計画の立案組織設置（中長期計画推進会議が基幹方針の協議・決定）
  - D：計画推進／管理組織として大学戦略室を設置（事務所管組織として企画室設置）
  - C：実行結果の点検・評価組織の設置（大学戦略室会議が原案作成、中長期計画推進会議にて点検・評価）
  - A：年度目標の提示、実施、点検・評価（事業計画に基づく大学運営の実施ー中長期計画に基づく当該年度の事業内容を開示し教職員に目標を周知、年度事業計画に基づいて実施）

- 全学教職員意見交換会を開催（2014年9月8日）

（2）大学のガバナンス強化

意思決定プロセスの迅速化

- 大学運営における学長のリーダーシップの確立等のガバナンス改革を促進するため、副学長・教授会等の職や組織の規程を見直し（2015年4月1日施行）

（3）時代の変化に対応した大学運営組織

効率的な事務運営

- 事務組織の機能と責任権限を明確にするため事務組織を一部改正（2015年4月）

人材育成・確保

- 事務局活性化を目的に、システミックコーチング導入（2014年11月）、コーチング新聞の発行

（4）収支に立脚した財務基盤の確立

外部資金の戦略的確保

- 事務局に外部資金課を設置（2015年4月）

TOPICS

本学女子学生とキッコーマン飲料株式会社が、「デルモンテ 花つぼみ ローズウォーター」を共同開発

この取組は、同社の「こんなドリンクあったらいいな♪」募集企画に、男女共同参画室の支援の下に編成された知識工学部自然科学科の女子学生5名のチーム「やま都市なでしこ」が応募し、最優秀賞として採用され商品化に至りました。2014年10月より共同開発を開始、味覚や商品名、デザイン、コスト面など全ての行程に携わり、約10ヶ月の開発期間を経て、2015年6月より期間限定商品として、量販店等で販売されました。5月末に夢キャンパスで行われた完成披露記者説明会には、テレビや新聞をはじめとする報道各社による取材が行われ、商品内容もさることながら、課題解決型教育（PBL）の好事例として紹介されるなど、本学のブランド価値向上に大きく貢献しました。